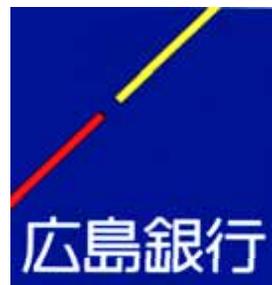


地域密着型金融推進計画の進捗状況

平成17年4月～平成18年9月

平成18年11月



1. 「地域密着型金融推進計画」の基本的な考え方

当行では、長期経営計画「リアライズ21」のもと、現在推進しております「第5次中期計画」の諸施策を積極的に展開し、当行の収益性及び健全性の向上に努めるとともに、円滑な資金仲介機能の発揮などを通じ、地域経済の活性化において、さらに中心的な役割を果たしてまいりたいと考えております。

第5次中期計画 【計画期間：平成17年度～19年度】

地域社会からの揺るぎない信頼確立に向けた行動計画

～ “ファースト・コール・バンク”の実現に向けて～

経営の両輪

お客さまの真の信頼に足る 行動の実践

法令等遵守を基本とし、
地域貢献への取組みを実践

基本方針

- 厳正な法令等遵守態勢の確立
- 統合的な内部管理体制の構築
- お客さま保護の徹底
- 企業の社会的責任(CSR)への取組み

安定した収益力の発揮と 磐石な財務体質の構築

本業である銀行業務を通じた
地域経済への貢献

基本方針

- セグメント別顧客戦略の徹底
- 総合金融サービスの積極展開
- 営業推進体制の強化・効率化
- コスト構造改革の推進

2. 「地域密着型金融推進計画」の内容について

こうした考え方のもと、当行では、「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム（平成17年3月29日 金融庁）」に基づき、「地域密着型金融推進計画」を策定し、「1. 事業再生・中小企業金融の円滑化」「2. 経営力の強化」及び「3. 地域の利用者の利便性向上」に取り組んでおります。

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化

創業・新事業先

- ベンチャー企業支援制度の活用
- IT化支援への取組み
- ビジネスマッチング業務への取組み
- 中小企業向け無担保融資の拡大
- 中小企業者の資金調達手法の拡充

既存・成長先

再生・支援先

- 要注意先債権の健全債権化に向けた取組み
- 事業再生手法の多様化

2. 経営力の強化

リスク管理態勢の充実

統合リスク管理の本格運用

ガバナンスの強化

「確認書」添付への態勢整備

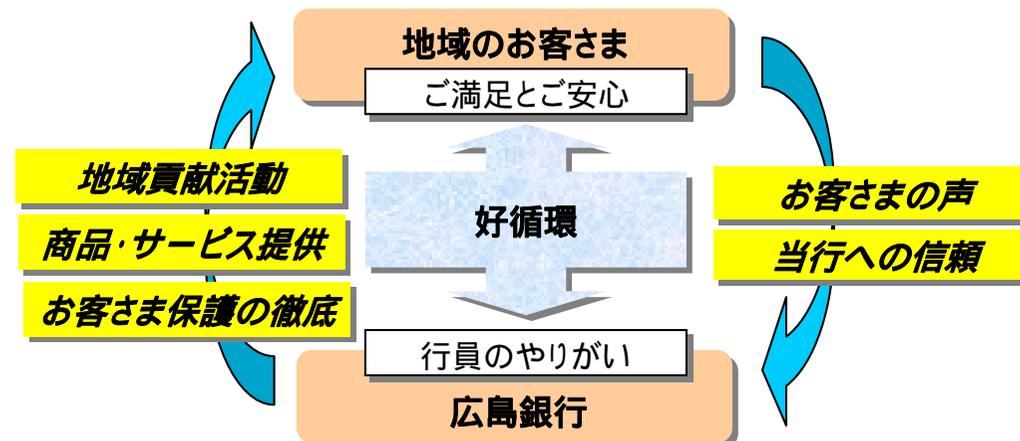
収益管理態勢の整備

個別採算管理の強化

厳正な法令等遵守態勢の確立

全行的な啓蒙活動の強化

3. 地域の利用者の利便性の向上



3. 「地域密着型金融推進計画」の推進状況-

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化

ベンチャー企業への支援態勢の充実、IT化支援への積極的取組み、ビジネスマッチング等の情報の提供、無担保・第三者保証人不要の融資商品の拡充などに計画通りの成果を上げております。

(1) 創業・新事業 / 経営相談支援機能等の強化

ベンチャー企業支援制度の活用

地元ベンチャー企業のあらゆる経営ニーズにお応えする「<ひろぎん>ベンチャー企業支援制度」を活用し、ベンチャー企業の育成を積極的に支援しています。

支援制度	平成17年4月～18年9月 実績累計		うち平成18年度上期	
	件数	金額	件数	金額
(財)ひろしまベンチャー育成基金(助成制度)	35件	28百万円	9件	10百万円
<ひろぎん>ベンチャー企業支援融資 ベンチャー企業向け公的資金等つなぎ融資(融資制度)	5件	92百万円	1件	15百万円

IT化支援への取組み

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)と中小企業のIT化支援事業について提携した、「<ひろぎん>中小企業IT応援ローン」の取扱いを西日本で初めて平成17年7月に開始するなど、IT関連を中心とした中小企業支援を積極的に推進しています。

支援制度	平成17年4月～18年9月 実績累計		うち平成18年度上期	
	件数	金額	件数	金額
<ひろぎん>中小企業IT応援ローン (情報処理推進機構連携)	9件	346百万円	4件	125百万円

ビジネスマッチング業務への取組み

財団法人ひろしま産業振興機構などと共同で、第3回「ひろしまビジネスマッチングフェア」を開催(平成18年9月)するなど、幅広い情報提供活動に取り組んでいます。

第3回ビジネスマッチングフェアの実績

来場者	約2,900名 (第2回対比 600名増加)
商談件数	約3,000件 (第2回対比 1,800件増加)

平成18年11月には、当行を含む4行の共催による上海での「中国ビジネスマッチング商談会」を開催する予定です。

3. 「地域密着型金融推進計画」の推進状況 -

(2) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進

中小企業向け無担保融資の拡大

スコアリングモデルを活用した融資商品の推進・拡充、信用保証協会との連携などを通じ、中小企業の資金ニーズに迅速にお応えできる無担保・第三者保証人不要の融資商品を推進しています。

融資商品	平成18年9月末残	
「スーパーブランド」「ブランド」 当行の信用格付を基準としたスピーディーな保証審査による無担保融資制度(信用保証協会提携)	1,920件	445億円
「クイックビジネスローン パートナー」 RDBスコアリングを活用した無担保・第三者保証人不要の融資制度	917件	29億円
「スプレッド保証」 当行の信用格付とCRD評点を基準とした無担保融資制度(信用保証協会提携)	208件	7億円
「小規模保証」(平成18年6月から取扱い開始) 小規模事業者を対象とした無担保融資制度(信用保証協会提携)	382件	12億円

中小企業者の資金調達手法の拡充

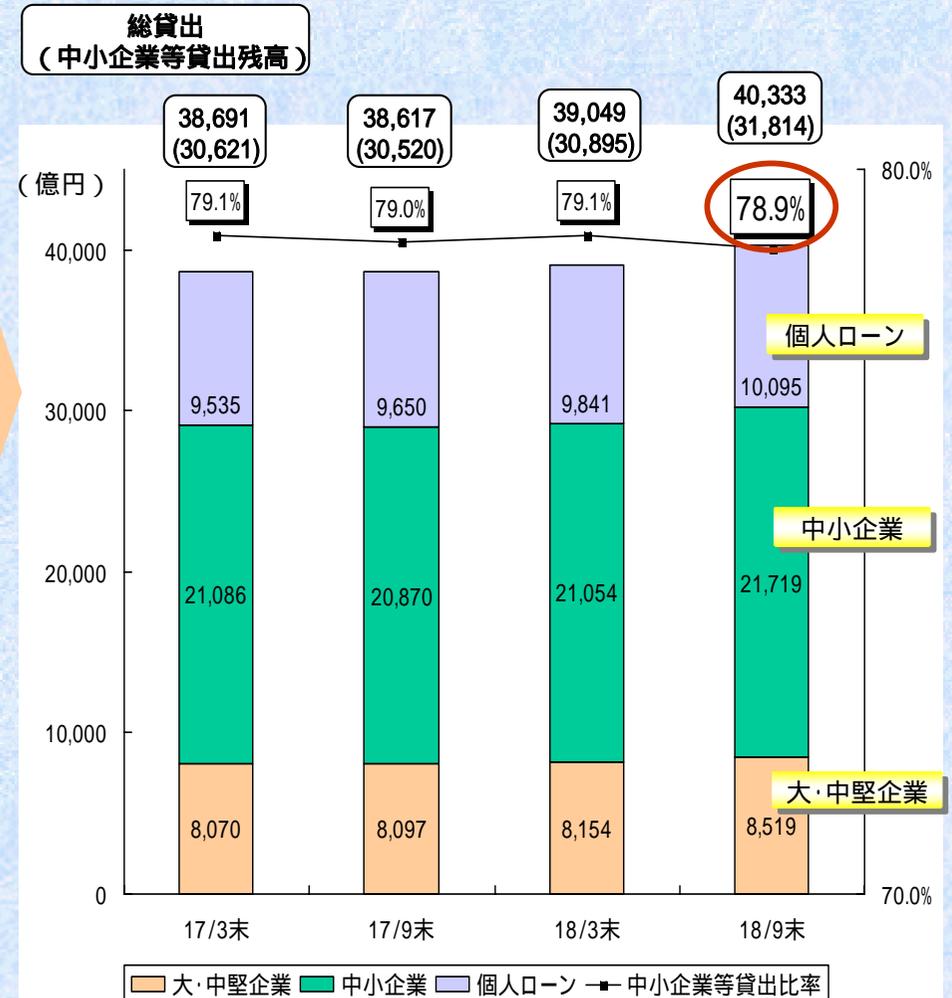
知的財産担保融資、動産譲渡・債権譲渡担保の活用など、新たな資金調達手法の拡充への取組みを強化しています。

内容	平成17年4月～平成18年9月 実績累計	
	うち平成18年度上期	
知的財産担保融資	2件	1件
動産譲渡担保融資	1件	0件
アセットファイナンス	21件	4件
一括決済サービス	8件	1件

中小企業等貸出比率 : 18年9月末実績: 78.9%

(数値目標:19年3月末:80.0%)

中小企業等貸出は、高い水準を確保しています。



3. 「地域密着型金融推進計画」の推進状況-

(3) 事業再生・経営改善支援強化への取組み

要注意先債権の健全債権化に向けた取組み

要注意先債権のうち、ランクアップ見込み先を選定し、本支店一体となった経営改善支援に取り組んだ結果、平成18年9月末現在で105先(6.2%)がランクアップしました。

	期初 債務者数 (平成18年3月末)	うち経営改善 支援取組み先	のうち債務者 区分が上昇した先
その他要注意先	2,566	1,573	93
要管理先	182	126	12
要注意先合計	2,748	1,699	105

事業再生手法の多様化

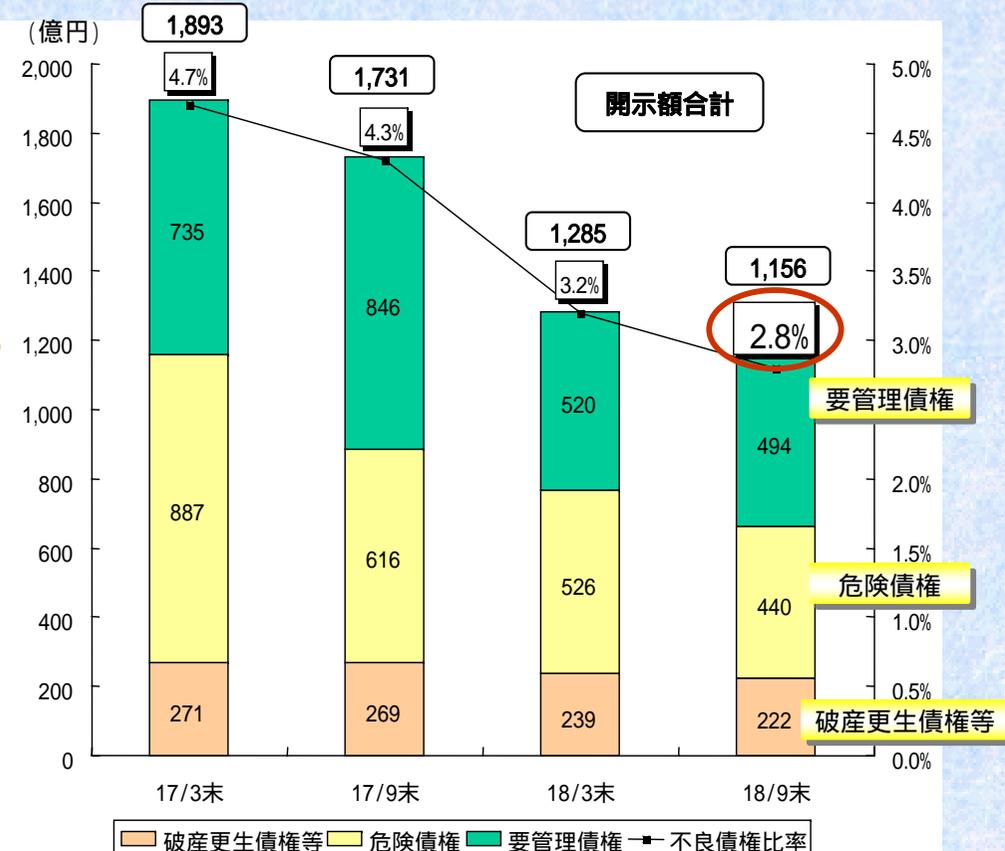
中小企業再生支援協議会等の機能を活用する中で、企業ごとに最適な事業再生手法(会社分割、M&A、DES、DDSなど)を選択し、事業再生に取り組んでいます。

内容	平成17年4月～平成18年9月 実績累計	
	うち平成18年度上期	
中小企業再生支援協議会の利用	11件	5件
RCCの活用	6件	2件

不良債権比率 : 18年9月末実績 : 2.8%

(数値目標:19年3月末:3.6%)

信用リスク管理強化による劣化防止の推進、ランクアップに向けた取組みの強化、再生ファンド活用などにより、不良債権比率は、目標を前倒して達成しました。



3. 「地域密着型金融推進計画」の推進状況 -

2. 経営力の強化

経営の安定性・健全性を確保するとともに、効率性・収益性を高めるため、多様化・複雑化する諸リスクへの的確に対応し、強固な内部管理体制の構築を推進しています。

リスク管理態勢の充実

各種リスクを計量化し、全行のリスクを自己資本との比較で適切な水準にコントロールしていくことにより、経営の健全性確保と収益性向上を図ることを目的として、平成18年度上期より、統合リスク管理態勢の本格運用を開始しています。

ガバナンスの強化

有価証券報告書の作成において、「有価証券報告書等作成規程」「決算業務マニュアル」を制定し、チェックリストによる自己チェック、内部確認書制度、内部監査制度を規定化するなど、新たな手順、制度を適正に運営し、平成18年3月期に証券取引法に基づく有価証券報告書の適正性に関する「確認書」の添付を実施しました。

収益管理態勢の整備

直近のデフォルト率に基づいた貸出基準金利により、きめ細かな貸出金利設定を行っているほか、RAROA等の収益性指標を活用した「個社別採算管理マニュアル」を制定するなど、収益管理態勢の強化を図っております。

加えて、貸出金の明細単位ごとのデータ保有により、多面的(格付別、業種別等)な分析を可能とする新しい収益管理システムを構築し、今後の営業戦略面における活用を図って参りたいと考えております。

厳正な法令等遵守態勢の確立

厳正な法令等遵守態勢の確立を企図し、平成18年9月に全従事者のコンプライアンスの意識を高めるため、全行的なコンプライアンスへの取組日(全部店コンプライアンス・デー)を制定するなど、啓蒙活動を一層強化することにより、不祥事件未然防止、情報漏えい防止に取り組んでおります。

3. 「地域密着型金融推進計画」の推進状況 -

3. 地域の利用者の利便性向上

本業を通じた地域経済への貢献を主軸とした地域貢献活動に取り組むとともに、積極的な情報開示、お客さまの声を経営に活かす体制作り等を通じ、お客さまの満足度と安心感の向上に努めています。

地域貢献活動への取り組み

地域社会の一員として、社会貢献活動・環境保全活動などCSR（企業の社会的責任）への取り組みを強化するとともに、積極的な情報開示に努めています。

	実施事項	時期	内容等
金融教育	▶キッズマネースクール	4月・8月	福山(参加:66人) 広島(参加:90人)
	▶ライフプランセミナー	5月・8月	広島(参加:107人) 広島(参加:64人)
	▶従事者家族銀行見学会開催	8月	参加:61人(26家族)
環境・安全	▶環境日-展開催	5~9月	5店舗
	▶ごみゼロ・クリーンウォーク	6月	参加:190人
	▶クリーン太田川河川清掃	7月	参加:60人
	▶セーフティステーション活動	6月~	広島県内の支店・出張所へステッカー掲出 自動車へのステッカー貼付
スポーツ	▶広島銀行スポンサーゲームの開催	4月	地元サッカーチームの支援 (参加:1,149人)
	▶4社合同カーブ応援観戦	7月・8月	7月(参加:259人) 8月(参加:325人)
	▶ひろぎんカップミニバス	7月	広島県ミニバスケット交歓大会への支援

情報開示の実施事項	内容等
▶ディスクジャー誌による積極的な開示	・写真やグラフを多用したわかりやすい内容を工夫
▶ホームページによる情報開示	・ニュースリリース等を通じた情報開示 ・平成18年11月にホームページを全面リニューアル(予定)

お客さまの声を活かす経営の実践

お客さまから寄せられた「ニーズにあった金融商品を充実してほしい」とのご意見にお応えし、団塊の世代・シニア層を中心としたお客さま向けサービスを充実しました。

団塊の世代・シニア世代のセカンドライフを応援するサービス	
活彩倶楽部 (平成18年8月創設)	▶会員制サービス(50歳代後半~) 金融面の情報・サービスと、趣味・旅行・健康などの非金融面の情報・サービス
第4回 ひろぎん ライフプランセミナー (平成18年8月開催)	▶50歳代以上を対象としたセミナー 退職後や老後のライフプランとゆとりあるセカンドライフのための資産運用等に関するセミナー
ひろぎん 特別金利プラン定期預金	▶3ヶ月間限定の特別金利を適用する退職金専用商品
ひろぎん 年金式定期預金 (愛称:マイライフアップ)	▶お預入1年後より元本の半額相当分を奇数月に分割してお受け取りいただける年金式定期預金

お客さまから寄せられた「安心できる機能を充実してほしい」とのご意見にお応えし、金融犯罪、特に偽造(盗難)キャッシュカードによる被害発生防止、被害極小化に向けた対応体制を強化しています。

	実施事項
被害発生防止への対応	▶当行ATM利用時に暗証番号変更を促すメッセージ出力 ▶類推可能な暗証番号が指定できないシステムの導入 ▶ATMへの防犯ミラー取付 など
被害極小化への対応	▶ATMにおける1日の利用限度額を200万円に設定 ▶手のひら認証付ICキャッシュカードの創設 ▶喪失届の24時間受付体制を実施 など
被害の補償	▶偽造キャッシュカード被害補償制度導入